

資料 2

【別紙資料】

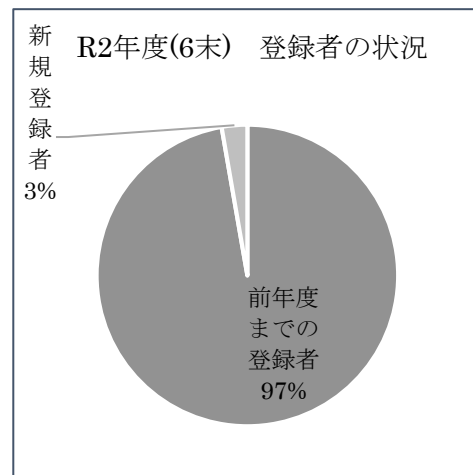
発達障がい者就業支援コーディネーター事業
実施状況（令和元年度・令和2年度6月末）

令和2年度 発達障がい者就業支援コーディネーター事業報告

大阪市障がい者就業・生活支援センター
(担当 佐藤)

1. 登録者の状況

	H30年度	R1年度	R2.6末
登録者数	163	213	219
前年度までの登録者数	116	161	213
新規登録者数	47	52	6



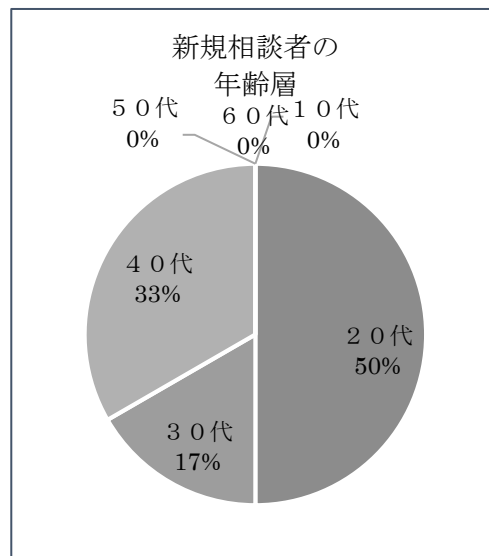
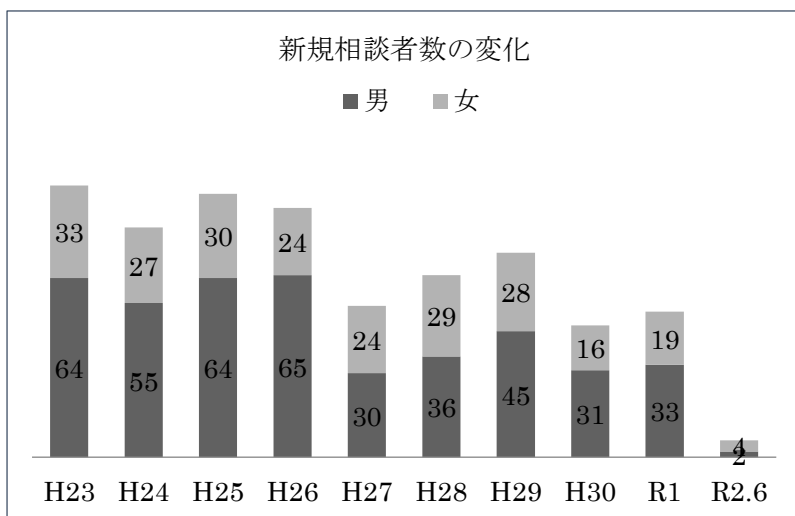
2. 令和1年度新規登録者の状況

(1) 新規相談者数の変化

年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2.6	合計
相談者数	63	97	82	94	89	54	65	73	47	52	6	722
男	34	64	55	64	65	30	36	45	31	33	2	459
女	29	33	27	30	24	24	29	28	16	19	4	263

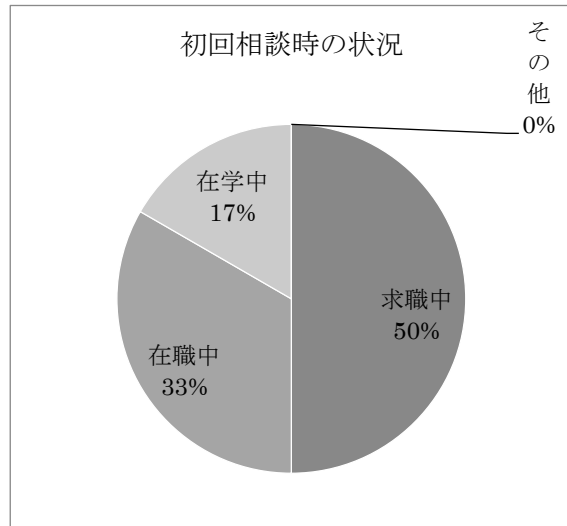
(2) 新規相談者の年齢層

年齢層	10代	20代	30代	40代	50代	60代	合計
全体	0	3	1	2	0	0	6
男	0	0	1	1	0	0	2
女	0	3	0	1	0	0	4



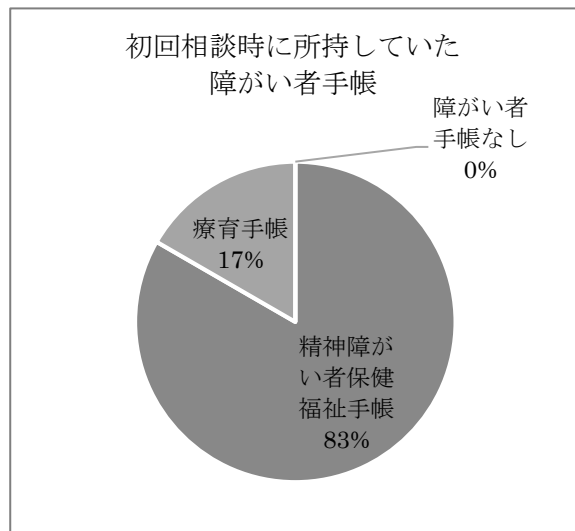
(3) 初回相談時の状況

初回相談時の状況	人数
求職中	3
在職中（内休職者）	2(0)
障がい者雇用	1
一般雇用	0
就労継続A型	1
在学中	1
高等学校	0
専門学校	0
大学	1
その他	0
合計	6



(4) 初回相談時に所持していた障がい者手帳の種類

障がい者手帳の種類	人数
精神障がい者保健福祉手帳	5
療育手帳	1
障がい者手帳なし	0
合計	6



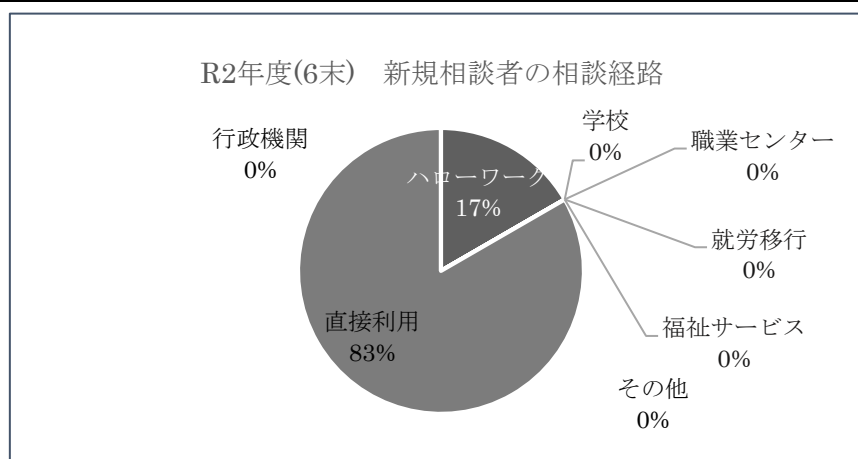
- ・全て手帳取得済みの方の相談。
- ・半数が初めての障がい者雇用を希望されとの相談、残り半数はすでに支援を受けておられる方。

(5) 相談の内容(一部)

- ・これまで家族の理解が得られず受診が叶わなかったが、家庭から離れたことをきっかけに発達障がいの診断を受ける。なかなか仕事が続かなかった経験を振り返り、改めて支援を受けながらの就職活動を希望して相談。
- ・在学中の相談。学校のサポートを受けているが、新型コロナウイルスの影響からインターンなどの就職活動に関する支援が中止されており、現在受けられる支援についての情報を得たいとのことで相談。

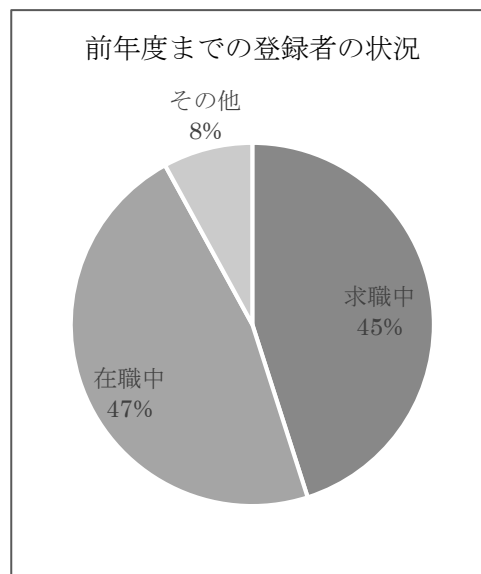
(6) 新規相談者の利用経路（利用するに至った経緯・経路）

利用経路	H30 年度	R1 年度	R2.6 末
① ハローワーク	12	17	1
障がい者窓口	8	9	1
わかものハローワーク	4	8	0
② 大阪障害者職業センター	0	2	0
③ 学校	0	3	0
特別支援学校	0	0	0
上記以外の学校	0	3	0
④ 就労移行支援事業所	0	1	0
⑤ 上記④以外の福祉サービス事業所	1	1	0
⑥ 市役所等の行政機関	8	1	0
区役所	8	1	0
はーとふるぷらざ	0	0	0
⑦ 直接利用（家族含む）	17	18	5
ホームページ	3	5	1
家族・知人・当事者会	14	13	4
⑧ 上記以外	9	9	0
発達障がい者支援センター	7	2	0
医療機関	1	3	0
困窮者支援機関	0	0	0
企業	1	2	0
就業・生活支援センター	0	1	0
一般向け相談機関	0	0	0
人材紹介サービス(障がい者専用)		1	0
合計	47	52	6



3. 前年度までの登録者の状況

前年度までの登録者の状況	人数
求職中	96
就労移行	12
就労移行以外の福祉サービス (継続B、自立訓練)	19
職業能力開発校	0
定期相談・ハローワーク同行等	65
在職中 (休職中)	100
障がい者雇用	76
一般雇用	12
就労継続A型	12
その他	17
合計	213



4. 全登録者への相談・支援状況

(1) 相談・支援件数 (内容別 延べ件数)

内容	H30 年度	R1 年度	R2.6 末
就職に向けた相談・支援	759	1068	98
職場定着に向けた相談・支援	358	285	81
就業と生活両方にわたる相談・支援	334	313	35
合計	1451	1666	214

(2) 相談・支援件数 (手段別・延べ件数)

手段	H30 年度	R1 年度	R2.6 末
センターへの来所	203	282	50
電話・FAX・メール	871	1052	151
職場訪問 (延べ訪問回数)	126	174	14
家庭・入所施設への訪問	3	4	2
その他 (ハローワーク・医療機関・区役所等への同行、ケース会議等)	248	318	50
合計	1451	1830	267

(3) 職場定着支援・職場復帰支援

① 本人に対する支援

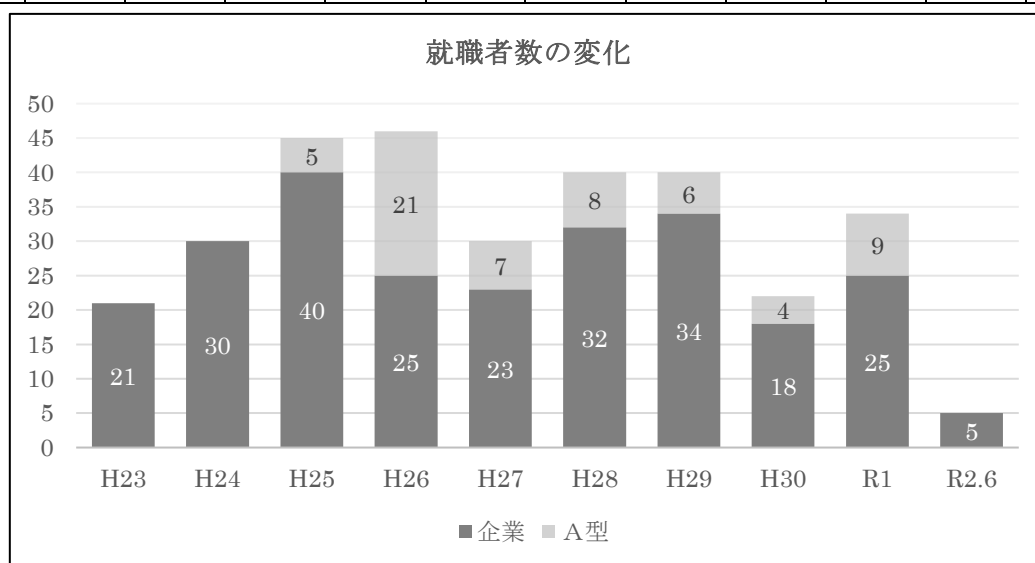
	H30年度	R1年度	R2.6末
支援対象者数（在職者総数）	77	100	103
職場定着に向けた相談・支援 （来所相談、電話等、職場訪問、家庭訪問など）	358	285	81
職場訪問件数	102	151	20
職場訪問実人数	21	23	8

② 事業所に対する支援

	H30年度	R1年度	R2.6末
支援を実施した事業所数	32	43	16
来所	1	9	2
電話・メール・FAX	53	69	23
職場訪問	116	131	11
その他（ケース会議等）	2	7	1
合計	204	259	53

5. 就職者数の変化

年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2.6
企業	6	21	30	40	25	23	32	34	18	25	5
A型	—	—	—	5	21	7	8	6	4	9	0
合計	6	21	30	45	46	30	40	40	22	34	5



令和元年度就職者一覧

障がい者手帳	診断名	年代	性別	就職時における一般枠の有無	採用日	就職までに要した期間(月)	定着状況	職種・業種	週労働時間	相談経路	初回相談時の状況	利用した社会資源等		
1	精神	発達障がい	20	男	クローズ	H31/4/1	1か月		広報事務	30時間以上	新卒応援ハローワーク	在学中	大学卒業後の進路についてオープン、クローズに悩み相談。	ハローワーク
2	精神	自閉症スペクトラム	30	男	クローズ	H31/4/24	3か月		接客業	20時間以上 30時間未満	ハローワーク (障がい者窓口)	求職中	一般で働かれていた経験あり。就職活動が上手くいかず相談。	ハローワーク 障害者職業センター
3	療育	自閉症スペクトラム	20	男		R1/05/08	7か月		バックヤード作業	30時間以上	ハローワーク (障がい者窓口)	求職中	一般で働かれていた経験あり。オープンでの就労を希望し相談。	ハローワーク
4	精神	自閉症スペクトラム	20	女		R1/05/16	5か月	1か月未満	事務補助	20時間以上 30時間未満	直接利用	就労中(カウントなし)	クローズで短時間勤務中。収入アップのため別の仕事を始めたいとのこと相談。	わかものハローワーク
5	精神	自閉症スペクトラム	20	男	クローズ	R1/06/14	10か月	6か月	製造	30時間以上	わかものハローワーク	在学中	専門学校卒業後の進路について家族からオープン就労を反対され悩み相談。	わかものハローワーク
6	精神	自閉症スペクトラム	30	男		R1/6/28	6か月		介護	30時間以上	ハローワーク (障がい者窓口)	求職中	一般で働かれていた経験あり。オープンでの就労を希望し相談。	ハローワーク 障害者職業センター
7	精神	自閉症スペクトラム	20	男		R1/7/5	1か月		接客・事務	30時間以上	医療機関	求職中	治療により就労への意欲がわき、オープンでの就労を希望され相談。	民間の派遣会社
8	精神	自閉症スペクトラム	20	男		R1/9/24	1か月	4か月	清掃・接客	30時間以上	専門学校(一般)	在学中	専門学校卒業後の進路についてオープン、クローズに悩み相談。	わかものハローワーク 障害者職業センター
9	療育	発達障がい	10	男		R1/10/1	6か月		事務補助	30時間以上	直接利用	求職中	学校卒業直後、オープンでの就労を希望され相談。	就業・生活支援センターでの定期面談
10	精神	自閉症スペクトラム	20	女		R1/11/1	18か月		一般事務	30時間以上	直接利用	就労中(カウントなし)	クローズで就労中、上司と上手くいかず、仕事内容も危険を伴うものであるため転職を希望され相談。	ハローワーク 就労移行支援事業所
11	精神	自閉症スペクトラム	20	男		R1/11/1	5か月		一般事務	30時間以上	直接利用	就労中(カウントなし)	就労継続支援A型事業所にて就労中。一般企業への就職へステップアップしたいと転職の相談。	ハローワーク
12	精神	自閉症スペクトラム	40	男		R1/11/1	13か月		清掃	20時間以上 30時間未満	ハローワーク (障がい者窓口)	求職中	一般で働かれていた経験あり。オープン、クローズでに悩み相談。	ハローワーク 障害者職業センター 就労移行支援事業所
13	精神	自閉症スペクトラム	20	女		R1/11/5	10か月		事務補助	20時間以上 30時間未満	直接利用	就労中(カウントなし)	クローズで短時間勤務中。収入アップのため別の仕事を始めたいとのこと相談。	わかものハローワーク
14	精神	自閉症スペクトラム	20	男		R1/11/18	8か月		清掃	30時間以上	区役所	在学中	専門学校卒業後の進路についてオープン、クローズに悩み相談。	ハローワーク
15	精神	自閉症スペクトラム	40	男		R1/11/20	1か月		事務補助	30時間以上	医療機関	求職中	一般で働かれていた経験あり。オープンでの就労を希望し相談。	ハローワーク
16	精神	ADHD	20	男		R1/12/1	1か月		Webデザイン	30時間以上	直接利用	求職中	一般で働かれていた経験あり。オープンでの就労を希望し相談。	ハローワーク
17	精神	ADHD	50	男		R1/12/1	10か月		一般事務	30時間以上	直接利用	就労中	就労中である会社が業績不振のため事業縮小。転職を希望し相談。	ハローワーク 就労移行支援事業所
18	精神	自閉症スペクトラム	30	男		R1/12/1	5か月		一般事務	30時間以上	わかものハローワーク	求職中	一般で働かれていた経験あり。オープンでの就労を希望し相談。	ハローワーク
19	精神	自閉症スペクトラム	20	男		R2/1/20	1か月		製造	30時間以上	専門学校	求職中	専門学校卒業後の進路についてオープン、クローズに悩み相談。	わかものハローワーク 障害者職業センター
20	療育	ADD	20	女		R02/02/17	18か月		介護補助	20時間以上 30時間未満	直接利用	在学中	高校卒業後の進路について職に向けての訓練を希望し相談。	ハローワーク 職業訓練
21	精神	自閉症スペクトラム	30	女		R02/03/11	36か月		一般事務(テレワーク)	20時間以上 30時間未満	直接利用	求職中	一般で働かれていた経験あり。自身で発達障がいを疑い、オープン就労について相談。	ハローワーク 障害者職業センター
22	精神	自閉症スペクトラム	30	男		R02/03/23	10か月		用務員補助	30時間以上	わかものハローワーク	就労中(カウントなし)	一般で働いていた経験あり。オープンでの就労を希望し相談。	わかものハローワーク 障害者職業センター
23	精神	自閉症スペクトラム	20	男		R02/03/01	6か月		一般事務	30時間以上	わかものハローワーク	求職中	一般で働いていた経験あり。オープンでの就労を希望し相談。	わかものハローワーク 民間の職業紹介事業
24	精神	自閉症スペクトラム	20	女		R02/02/13	3か月		一般事務	30時間以上	わかものハローワーク	求職中	一般で働いていた経験あり。オープンでの就労を希望し相談。	わかものハローワーク ハローワーク
25	精神	ADHD	30	男		R02/02/01	1か月		一般事務	30時間以上	職業紹介事業	求職中	一般で働いていた経験あり。オープンでの就労を希望し相談。	障害者職業センター
26	精神	自閉症スペクトラム	20	女		H31/04/01	1か月	1か月	軽作業(A型事業所)	20時間以上 30時間未満	直接利用	在学中	高校卒業後の進路について職に向けての訓練を希望し相談。	就労移行支援事業所 ハローワーク
27	精神	自閉症スペクトラム	20	女		R1/05/08	1か月		事務作業(A型事業所)	20時間以上 30時間未満	直接利用	在学中	高校卒業後の進路について職に向けての訓練を希望し相談。	就労移行支援事業所 ハローワーク
28	精神	自閉症スペクトラム	20	男		R1/05/30	22か月	5か月	事務作業(A型事業所)	20時間以上 32時間未満	直接利用	在学中	大学卒業後の進路についてオープン、クローズに悩み相談。	ハローワーク 障害者職業センター
29	精神	自閉症スペクトラム	40	男		R1/07/22	1か月		軽作業(A型事業所)	20時間以上 32時間未満	相談支援事業所	求職中	B型利用中。ステップアップを希望され相談。	ハローワーク
30	精神	自閉症スペクトラム	40	女		R1/07/22	8か月		軽作業(A型事業所)	20時間以上 32時間未満	エルム大阪	在職中	A型利用中。他のA型に移りたいということで相談。	ハローワーク
31	療育	自閉症スペクトラム	30	女		R1/07/29	5か月	5か月	軽作業(A型事業所)	20時間以上 32時間未満	就業・生活支援センター	求職中	一般で働かれていた経験あり。訓練等を経て就職活動に悩み相談。	ハローワーク
32	精神	自閉症スペクトラム	20	男		R1/09/09	4か月		デザイン(A型事業所)	20時間以上 32時間未満	わかものハローワーク	求職中	専門学校卒業後の進路についてすぐに一般就労ではなくA型から考えたいと相談。	ハローワーク
33	精神	自閉症スペクトラム	20	女		R1/10/01	11か月		軽作業(A型事業所)	20時間以上 32時間未満	医療機関	求職中	これまでにB型利用。ステップアップを希望され相談。	わかものハローワーク
34	精神	ADHD	20	女		R1/11/11	12か月		PC作業(A型事業所)	20時間以上 32時間未満	直接利用	求職中	一般で働かれていた経験あり。オープン就労を希望され相談。	障害者職業センター ハローワーク

**地域障がい者就業・生活支援センターにおける
「発達障がい者向け相談」等の支援力向上のための取り組み**

<発達障がい者就業支援コーディネーター事業>

個々の職業知識・職業技術・就労経験に加えて、障がい特性や生活状況、障がい受容の有無等をアセスメント
既存の障がい者向けのサービスのみならず、若者支援等の利用可能な社会資源と協働し、就労支援を行う

- ・ 困難ケースの共有
- ・ 地域障がい者就業・生活支援センターの特色を活かした支援内容の共有

支援手法ツールの提示、
困難ケースの専門的アドバイス等

<各地域障がい者就業・生活支援センター>

母体の法人の特色によりそれぞれに得意分野がある
また地域の社会資源との密な連携を土台に、就労・生活の両面をサポートする

地域障がい者就業・生活支援センターのケース対応スキルが向上することで、地域障がい者就業・生活支援センターで対応可能なケースが増え、また地域の社会資源の整備が進んでいくことにより、福祉サービスや職業訓練を希望するケースは比較的スムーズに社会資源に繋がりがやすくなってきている。

そのため発達障がい者就業支援コーディネーターが対応すべきケースとして、障がい受容が困難であるケース、福祉サービスに馴染まず居場所を得ることから始めなければならないケース、若者支援で対応しきれないケース、医療連携が必要なケース、企業に相談ニーズがあるケース等、より地域のネットワークを広げた長期的な支援が必要なケースへの対応が増えつつある。

そういったケースに対し、各地域障がい者就業・生活支援センターと連携を図りながら、地域の資源を活用し、それぞれの特色を活かしケース対応に取り組む。

地域障がい者就業・生活支援センターとの事例・情報共有勉強会実施状況

(令和元年度)

実施月	情報共有・検討内容
4月	企業より相談を受けるが、仕事場に入れないケースについて。
5月	4月に引き続きケース報告。企業が支援を拒否され、退職に至る。
7月	就労中に診断が出た方より相談。上司と話し合いながら勤務を続けることになったケースについて。 転職を繰り返し、家賃の滞納が重なっている方の相談。就労・生活の両面から対応したケース。
9月	大学在学中の相談が多い。特例子会社から登録を勧められるケースについて。 身体障がい者手帳を持ち就労中、上司と上手くいかないことに悩み診断が出たケースについて。
10月	会議報告。発達障がい者支援センターの支援状況、及び地域障がい者就業・生活支援センターの支援状況について。
11月	大学の既卒生を支援する機関との連携について。
12月	若者ハローワークとの連携について。
3月	大学在学中の子を持つ保護者よりの相談について。

セミナー等講演会への講師派遣による発達障がい理解の促進（令和元年度）

派遣先	内容
<p>発達障害者雇用支援連絡協議会 （大阪障害者職業センター主催会議）</p>	<p>協議会委員として参加</p>
<p>NPO 法人 大阪精神障害者就労支援ネットワーク</p>	<p>「発達障がい者支援コーディネーター派遣事業(就労準備支援) ※大阪精神障害者就労支援ネットワーク主催」ヘッドバイザー委員として企画会議に参加</p> <p>（事業概要）※事業実施に向け継続検討中 発達障がいのある方をすでに受け入れている、また今後受け入れる可能性がある支援機関に対し、「就労準備基礎講座」、「訪問型支援」を実施するもの。</p>
<p>大阪市子ども青少年局 子ども相談センター</p>	<p>学校卒業後の進路の選択肢 学齢期に準備できることについて講演</p>
<p>天王寺区自立支援協議会相談支援部会</p>	<p>相談支援事業との連携について講演</p>

地域の支援機関との連携、コーディネートについて

事例	連携機関	コーディネート内容
<p>障がい受容に課題。 一般向け、障がい者向けに関わらず複数の相談機関と繋がり、それぞれに違った相談をし、支援の方向性も違っていたため情報が混乱。 結果上手く支援に繋がらず、就労を希望されながらも短期のアルバイトや派遣を転々と繰り返している状況。</p>	<p>発達障がい者支援センター 障害者職業センター わかものハローワーク 若者サポートステーション 大学向けキャリア支援機関 就労継続支援 B 型</p>	<p>地域障がい者就業・生活支援センターが中心となりご本人の現状を整理し、継続した訓練の必要性を一緒に確認。 福祉サービスを複数見学し、就労継続支援 B 型の利用を検討。 その他の支援機関からも統一して就労継続支援 B 型の利用の方向で支援を進めるよう調整。</p>
<p>障がい受容に課題。 家庭での理解、サポートを得ることも難しい。 一般での就職活動を長年続けてこられたが採用には至らず、クローズでの就職活動に限界を感じている。</p>	<p>わかものハローワーク 医療機関 ハローワーク専門援助部門</p>	<p>障がい者雇用について情報提供し、障がい者手帳取得からサポート。 発達障がいの診断を受け、実際に障がい者手帳を取得し、障がい者枠での就労に納得できるまでを伴走。各支援機関の役割分担や、支援の方向性について情報共有、調整を図る。</p>
<p>初めての障がい者枠での就職活動。 自身の特性や必要な配慮の整理、また定着支援を希望。</p>	<p>人材紹介サービス 障害者職業センター 企業</p>	<p>人材紹介サービスの利用から就職が決まる。その後の定着支援について、人材紹介サービスと連携を取りながらご本人へのサポート体制を構築。 定着支援のための企業訪問を各支援機関と連携し役割分担。面談の結果について、ご本人のニーズに対応する効果的な方法をコーディネートする。</p>
<p>専門学校在学中。 障がい者枠での就職活動を希望され相談。 特例子会社への応募の際、地域障がい者就業・生活支援センターの登録を求められる。</p>	<p>専門学校 ハローワーク専門援助部門 企業 職業訓練施設 ご家族 地域センター</p>	<p>特例子会社への応募活動と同時に、自身の特性の整理の重要性を説明。 職業訓練についての情報提供、及び利用までのサポートを行う。 ご家族に対しても就職までの流れをご説明。</p>
<p>クローズで夜間のアルバイトをしながら、オープンでの就職活動を希望され相談。 気分や意欲に波があり継続した支援が難しい状況。 障がい受容に課題があり、特性の整理や安定した通所が求められる状況。</p>	<p>相談支援事業所 ヘルパー 医療機関 自立訓練事業所 就労継続支援 A 型</p>	<p>キーパーソンとして相談支援事業所の相談員の方がおり、就労分野については発達障がい者就業支援コーディネーターが調整を図る。 医療機関への情報提供や、各福祉サービス事業所への同行等行う中でご本人の状況を整理し、必要な支援をご本人と一緒に確認。 継続した相談体制を構築するため、支援機関との連携を図る。</p>

講座等の開催による情報の収集・発信について

○ 制度活用・就職準備・就職マナー講座等の開催状況

種別	会場等	参加者	参加者数	内容
一般教育 諸学校向け 講座 (普通高校) (専門・専修 学校等)	東朋高等専修学校 (出前講座)	在校生・家族・教職員・ 支援事業者・行政関係者	26 事業所 約 70 名	・社会資源活用や福祉サービス体験等の 予約相談 ・SST などを用いた グループワーク 基礎講座（発達傾向 のある方への理解と 支援方法）
	全国職リハ学会大会 (公開講座)	在校生・教職員・支援事 業者	32	
	淀川区役所 (出前講座)	淀川区はたらく・くらし 応援フェスタ参加者対象	60	
支援学校 支援機関 向け講座	大教大中等部 (地域連携授業)	家族・地域学校教職員（在 校生）・地域支援事業者・ 地域行政関係者 在校生・教職員	60	・基礎講座（発達傾 向のある方への理解 と支援方法） ・地域支援機関担当 者によるサービス説 明・相談 ・学生就活相談コー ナー ・日中活動場情報の 提供 ・余暇支援情報の提 供
	なんば支援学校 (学校指定合同講座)		15	
	東住吉支援学校 (通所事業所説明会)		74	
	大阪市職業指導センター (市民向け合同講座)		200	
在校生向け 講座	都島区民センター (出前講座)	就労支援フェスタ参加者 対象	94	・就職前マナー実践 講座（面接・身だし なみなど） ・履歴書作成のため の基礎講座（書き 方・自己アピールの 仕方など） ・SST などを用いた グループワーク（一 般在校生向け就活講 座含む）
	西区民センター (出前講座)	ディーセントワーク（し ごとオープンキャンパ ス）参加者対象	30	
	思斉支援学校 (出前講座)	在校生・教職員	29	
	大教大付属支援学校 (出前講座)		20	
	ワークセンター中授 (移行・B型)		28	
	(株)ダイキンサンライズ摂津 (重度障がい者多数雇用 企業)		8	
	WANA 関西マルヒア (自立訓練)		11	
	大阪 MAC (社会復帰施設)		30	